

Life

ライフアンドジョブ
and
Job

vol. 3

今回訪問した事業所
株式会社ダイジ山形工場

男女が共に活躍している
元気な市内企業を紹介します



小野 華奈さん(右)/熊谷 実音さん(左)

(株)ダイジは昭和電線グループ企業で、電気・電子機器の神経ともいえるワイヤハーネスの専門メーカーです。山形工場では、大手メーカーの家電製品やATMなどに使われるケーブルを主に製造しており、たくさんの女性が活躍しています。

2人は、今春市内の高校を卒業したばかり。「覚えることがたくさんあって大変だけど、新しいことを覚えるのは楽しい。困ったことがあっても、先輩が優しく声を掛けてくれます」と小野さん。熊谷さんは「作業を1人でやり切ったときが、今まででいちばんうれしかった。先輩の手を煩わせず、自分で機械を調整できるようにになりたいです」と、目標を語ってくれました。先輩たちに見守られ、どんどん成長する2人。これからは楽しみます。

企業で取り組んでいること

- ワークライフバランスの取り組みとして、年に6日間の有給休暇を取得する「計画年次取得制度」を実施しています。平成27年度は取得率100%を達成しました。
- 自分の都合に合わせて休めるように、半日単位での休暇取得が可能です。平成28年度の有給休暇取得率は64・6%でした。
- 育児休暇取得率100%です。
- パートから社員への待遇変更も実施しています。



【企業の概要】

住所/浜松町77-40
従業員数/36人(うち女性31人)
電話番号/33-5791
業務内容/ワイヤハーネスの製造・販売



▲ケーブルのストリップ(皮むぎ)作業



▲ハーネス組み立ての最終工程

みんなて ごみ減量 大作戦

3
「排水の陣」



岡市環境衛生課管理係
☎31-0933

今回も、まずはクイズから。
酒田地区広域行政組合のごみ処理施設に搬入されるごみで一番多いものはなんでしょう？ プラスチックだろうか？ プーパー。答えは「水」。燃やすごみの重量の約半分が水分なのです。さらに水分を除いた後の組成を分析すると、最も多いのは紙。紙と布で5割、次のプラスチック類が2割、続いて枝木類が1割。生ごみは意外と少なく12割。県内のごみ処理施設の平均値と比較すると、酒田地区の特徴として紙(繊維類を含む)と枝木が多いことが分かります。

重量の半分を占める水分は、生ごみにも含まれますし、枝木にも含まれています。枝木を絞るわけにはいかないのです、すぐ減量に結びつくのは生ごみの水切り。

と絞りすると約40%の水分が抜けていきます(大分市での実験結果より)。1世帯で40kgですから4万世帯では1・6ト。すごいですよ？

流しの三角コーナーにネットをかけて生ごみを絞ったり、三角コーナーの上に水を入れた2リットのペットボトルを置くだけでも十分水分が出ていきます。

第1回でお伝えした通り、本市のごみ排出量は県内13市中ワースト1位、まさに背水の陣。そこでごみ減量に即効性がある排水の陣。今日から実践してみませんか。

